資料５－２

令和８年度
行政経営システム（サマーレビュー）
総合計画審議会



政策の柱１　教育･学び

■目指す姿

　人は学ぶことで磨かれていきます。誰もが安心して、いつでも、どこでも学べる環境の充実が求められています。
　教育水準の向上と、先人から受け継いだ南相馬の自然、歴史・伝統を生かした教育により、こどもの未来を切り拓く力を高めます。
　また、人生100年時代において、より心豊かな人生を送ることができるよう、生涯にわたって学ぶことができる環境づくりを推進することにより、誰もが学びたいことを学び続けられるまちを目指します。

■重要目標達成指標（政策の柱ごと）

KGI（重要目標達成指標）	現状値	目標値（令和８年）	①指標の設定理由 ②目標値の考え方
全国学力学習状況調査（小6、中3）における標準化得点	小６　99 中３　99	小６　103 中３　101	①児童生徒の教育水準の向上が図られているかを評価するため。 ②小６、中３ともに全国トップレベルを目標として設定。 ※調査における全国平均 100、全国トップレベル 103。 【全国学力・学習状況調査 標準化得点】
学習適応性検査※の偏差値	小５　52.4 中２　55.4	小５　55.0 中２　58.0	①魅力ある教育環境づくりが推進されているかを評価するため。 ②現状値は全国平均（50）を上回っているが、更なる向上を目指し、小５は 55.0、中２は 58.0（現状値からそれぞれ３ポイント程度の向上）を目標値に設定。 【AAI 検査(学習適応性検査)の標準得点（偏差値)】
生涯学習の機会の提供に対し「満足」「やや満足」と回答する市民・保護者の割合	38.2%	42.2%	①生涯にわたって学ぶことができる環境づくりが推進されているかを評価するため。 ②過去３年間の平均値に係る直近年度の伸び率年２％の増加を目標として設定。



政策の柱	前年度実績に対するKGIの状況		上昇等割合	KGIの達成状況		達成割合	基本施策	施策	前年度実績に対するKPIの状況		上昇等割合	KPIの達成状況		達成割合	KPIの有効性		有効割合
	上昇等	下降等		達成	未達成				上昇等	下降等		達成	未達成		有効	非有効	
1　教育･学び	3指標	2指標	60%	1指標	4指標	20%	（1）学校教育	①豊かな心と体の育成	5指標	2指標	71%	1指標	7指標	13%	4指標	0指標	100%
								②教育水準の向上	1指標	3指標	25%	1指標	3指標	25%	2指標	0指標	100%
								③教育環境の整備	4指標	0指標	100%	3指標	1指標	75%	3指標	0指標	100%
								④児童･生徒の状況に応じた支援の充実	2指標	2指標	50%	1指標	3指標	25%	2指標	0指標	100%
							（2）生涯学習	⑤生涯学習の充実	4指標	1指標	80%	3指標	2指標	60%	5指標	0指標	100%
								⑥芸術文化の充実	1指標	0指標	100%	0指標	1指標	0%	1指標	0指標	100%
								⑦ジェンダー平等社会の推進	0指標	3指標	0%	0指標	3指標	0%	3指標	0指標	100%
								件数	17指標	11指標	61%	9指標	20指標	31%	20指標	0指標	100%

■参考　前年度

政策の柱	前年度実績に対するKGIの状況		上昇等割合	KGIの達成状況		達成割合	基本施策	施策	前年度実績に対するKPIの状況		上昇等割合	KPIの達成状況		達成割合	KPIの有効性		有効割合
	上昇等	下降等		達成	未達成				上昇等	下降等		達成	未達成		有効	非有効	
1　教育・学び	2指標	3指標	40%	1指標	4指標	20%	（1）学校教育	①豊かな心と体の育成	7指標	1指標	88%	2指標	6指標	25%	6指標	0指標	100%
								②教育水準の向上	2指標	2指標	50%	0指標	4指標	0%	4指標	0指標	100%
								③教育環境の整備	3指標	1指標	75%	2指標	2指標	50%	4指標	0指標	100%
								④児童・生徒の状況に応じた支援の充実	4指標	0指標	100%	1指標	3指標	25%	4指標	0指標	100%
							（2）生涯学習	⑤生涯学習の充実	3指標	2指標	60%	4指標	1指標	80%	5指標	0指標	100%
								⑥芸術文化の充実	1指標	0指標	100%	1指標	0指標	100%	1指標	0指標	100%
								⑦ジェンダー平等社会の推進	3指標	0指標	100%	0指標	3指標	0%	3指標	0指標	100%
								件数	23指標	6指標	79%	10指標	19指標	34%	27指標	0指標	100%

政策の柱１　教育・学び

■自己評価結果

成果指標

指標名	2022 令和4年度現状値①	2022 令和4年度末実績値②	2023 令和5年度末実績値③	2023 ③/①現状比(%)	2023 ③/②前年比(%)	2023 令和5年度末目標値	2023 達成率(%)	2024 令和6年度末実績値④	2024 ④/①現状比(%)	2024 ④/②前年比(%)	2024 令和6年度末目標値	2024 達成率(%)	2025 令和7年度末実績値⑤	2025 ⑤/①現状比(%)	2025 ⑤/②前年比(%)	2025 令和7年度末目標値	2025 達成率(%)	2026 令和8年度末実績値⑥	2026 ⑥/①現状比(%)	2026 ⑥/②前年比(%)	2026 令和8年度末目標値	2026 達成率(%)	2026担当課	KGI・KPI達成状況	KGI・KPI達成状況の要因（直近１年間の要因分析）※原則未達成の場合記載
全国学力学習状況調査（小６、中３）における標準化得点	小６ 99	小６ 99	小６ 99	100%	100%	小６ 100	99%	小６ 98	99%	99%	小６ 101	97%	小６ 98	99%	99%	小６ 102	96%		0%	0%	小６ 103	0%	学校教育課	未達成	目標値を下回っているが、全国平均を上回る学校や教科によっては全国正答率を上回る学校もあった。国語の「話すこと・聞くこと」の正答率が低く、根拠を明確にして自分の意見をまとめたり、相手が何を伝えたいか考えたりする問題に課題が見られた。算数における正答率が県平均正答率を上回り、昨年度より全国平均正答率との差が縮まった。特に図形の領域では、全国平均正答率と同じ結果でした。これらの調査分析の結果から授業改善に取り組めるようにしていく。
	中３ 99	中３ 99	中３ 97	98%	98%	中３ 100	97%	中３ 97	98%	98%	中３ 100	97%	中３ 99	100%	100%	中３ 100	99%		0%	0%	中３ 101	0%	学校教育課	未達成	目標値を下回っているが、近年と比較すると全国正答率と近づいている。数学に課題があり、正答数の分布を全国値と比較すると、上位者が少なく中位から下位にかけての層に厚みがあり二極化している。今後も調査分析の結果を踏まえ学校訪問を中心にして授業改善に取り組めるようにしていく。
学習適応性検査の偏差値	小５ 52.4	小５ 52.4	小５ 53.6	102%	102%	小５ 53.0	101%	小５ 51.7	99%	99%	小５ 53.7	96%	小５ 53.9	103%	103%	小５ 54.4	99%		0%	0%	小５ 55.0	0%	学校教育課	未達成	昨年より偏差値は向上し、全国平均を上回っている。教育環境づくりにより子どもたちは学校が居心地のよい場所になっているのではないかと結果から推察される。
	中２ 55.4	中２ 55.4	中２ 56.1	101%	101%	中２ 56.0	100%	中２ 55.4	100%	100%	中２ 56.7	98%	中２ 55.2	100%	100%	中２ 57.4	96%		0%	0%	中２ 58.0	0%	学校教育課	未達成	目標値を下回っているが、全国平均よりは偏差値が上回っていることから教育環境づくりにより子どもたちは学校が居心地のよい場所になっているのではないかと結果から推察される。
生涯学習の機会の提供に対し「満足」「やや満足」と回答する市民・保護者の割合	38.2%	38.2%	32.9%	86%	86%	39.2%	84%	50.0%	131%	131%	40.2%	124%	55.6%	146%	146%	41.2%	135%		0%	0%	42.2%	0%	生涯学習課	達成	目標は達成したものの、「満足」の回答は9.2%で、昨年度の8.7%から大きく伸びていない。また、小中学校保護者の満足・やや満足の回答は6割超に対し、一般は3割で大きな差がある。 よって、市民ニーズの把握に努め、生涯学習各種事業の充実を図るとともに、生涯学習関連情報の発信について、さらに改善していくことが必要である。（小中学校保護者よりも一般の方が情報に触れる機会が少ない。）

目指す姿に対して実効性が高い施策	目指す姿に対して期待した成果が得られなかった施策	今後への課題と対応
【施策③教育環境の整備】 【施策⑤生涯学習の充実】 学校教育分野においては、子どもたちにとって、学校が「楽しい・安心である」場所となるような教育環境の確保に努めた結果、保護者及び児童生徒の満足度に寄与したものと捉えている。 生涯学習分野においては、多様な市民ニーズを捉え、地域人材・資源の活用を図った結果、市民が気軽に学ぶことができる環境づくりに寄与したものと捉えている。	【施策⑤生涯学習の充実】 東日本大震災や新型コロナウイルス感染症の影響により、民族芸能実施の機会が減少し、活動休止が増えている。	施策⑤生涯学習の充実では、震災等の影響により民俗芸能の実施機会が減少するなど、地域のつながりが希薄化していることが課題である。今後も生涯学習センター等において市民が集う場づくりと魅力的な事業を推進するとともに、恐竜化石探索調査・教育普及事業等で実施した民間事業者との協働による幅広い普及展開の手法を参考にして事業づくりに取り組む。 また、施策①②④については、数値が改善傾向にはあるものの目標を下回っている。学力の基礎・基本の確実な定着と向上に向け、国際バカロレア研究開発校における成果を市内全体に広げるなど、さらなる取り組みを進める。

基本施策１.学校教育

■現状と課題

　グローバル化の進展や技術革新、災害の多発など、こどもたちが歩んでいく将来の社会の姿は不透明な状況です。また、震災と原発事故、新型コロナの影響により、こどもたちの心と体への影響のほか、不登校やいじめなど教育上・学校運営上の課題の顕在化が懸念されるとともに、発達障がいをはじめとする支援が必要な児童生徒が増加しています。
　こどもたちがこれからの未来を生きぬく力を育むためには、豊かな心と体の育成に向けた取組を引き続き進めていくとともに、基礎学力の定着と活用力の向上、外国語教育、プログラミング教育の推進など、教育水準の更なる向上と児童生徒の状況に応じた支援を充実し、誰一人取り残さない教育環境の整備が求められています。
　また、こどもを巻き込む事故が全国的に発生していることから、地域との連携による登下校時の安全確保の取組や老朽施設・設備の改修など、こどもたちが安全で快適な学校生活を送ることができる環境整備が必要です。

■関連するSDGｓ



基本施策	施策	前年度実績に対するKPIの状況		上昇等割合	KPIの達成状況		達成割合	KPIの有効性		有効割合
		上昇等	下降等		達成	未達成		有効	非有効	
（1）学校教育	①豊かな心と体の育成	5指標	2指標	71%	1指標	7指標	13%	4指標	0指標	100%
	②教育水準の向上	1指標	3指標	25%	1指標	3指標	25%	2指標	0指標	100%
	③教育環境の整備	4指標	0指標	100%	3指標	1指標	75%	3指標	0指標	100%
	④児童・生徒の状況に応じた支援の充実	2指標	2指標	50%	1指標	3指標	25%	2指標	0指標	100%

■参考　前年度

基本施策	施策	前年度実績に対するKPIの状況		上昇等割合	KPIの達成状況		達成割合	KPIの有効性		有効割合
		上昇等	下降等		達成	未達成		有効	非有効	
（1）学校教育	①豊かな心と体の育成	7指標	1指標	88%	2指標	6指標	25%	6指標	0指標	100%
	②教育水準の向上	2指標	2指標	50%	0指標	4指標	0%	4指標	0指標	100%
	③教育環境の整備	3指標	1指標	75%	2指標	2指標	50%	4指標	0指標	100%
	④児童・生徒の状況に応じた支援の充実	4指標	0指標	100%	1指標	3指標	25%	4指標	0指標	100%

施策①豊かな心と体の育成

取組方針

■郷土を愛し豊かな心を育む教育「至誠（まごころ）学」を推進します。
■様々な側面から生命の尊さについての考えを深める道徳教育を推進します。
■運動の習慣化や正しい食生活を身に付け、健康な体を育む教育の推進を図ります。

主な取組例

●計画的・発展的な道徳教育の充実　●報徳仕法等の郷土学習の実施
●体力・運動能力向上の取組　●食育の推進　●情報モラル教育の充実

| 成果指標 | | |

施策②教育水準の向上

取組方針

■基礎学力の定着と活用力の向上を推進します。
■学習意欲を高める魅力ある教育環境づくりに取り組みます。
■こどもの読書活動と調べ学習を推進します。
■進学を推進するための支援に取り組みます。

主な取組例

●学力の実態把握や授業の改善　●市独自教員の採用　●一人１台のタブレット等を活用したデジタル学習の推進
●中学生の海外研修の継続と、多様な文化や価値観への理解を醸成する体験プログラムの提供
●公立学校適正化計画の推進　●福島国際研究教育機構（F-REI）等との連携による次世代人材の育成
●小高区の文教ゾーンを生かした魅力ある教育環境の整備

成果指標

指標名	2022		2023				2024					2025					2026					2026担当課	KGI・KPI達成状況	KGI・KPI達成状況の要因（直近１年間の要因分析）※原則未達成の場合記載	KPI達成状況の評価		R9年度に向けた施策の対応方針	R9年度に向けた施策の対応方針の具体案
	令和4年度現状値①	令和4年度末実績値②	令和5年度末実績値③	③/①現状比(%)	③/②前年比(%)	令和5年度末目標値	達成率(%)	令和6年度末実績値④	④/①現状比(%)	④/②前年比(%)	令和6年度末目標値	達成率(%)	令和7年度末実績値⑤	⑤/①現状比(%)	⑤/②前年比(%)	令和7年度末目標値	達成率(%)	令和8年度末実績値⑥	⑥/①現状比(%)	⑥/②前年比(%)	令和8年度末目標値	達成率(%)							
学習の意欲が高い児童生徒の割合	小5 43.0%	小5 43.0%	小5 41.0%	95%	95%	小5 47.0%	87%	小5 35%	81%	81%	小5 51.0%	69%	小5 56%	130%	130%	小5 56.0%	100%		0%	0%	小5 60.0%	0%	学校教育課	達成	目標値をクリアしている。今後も授業スタイルを元にして「分かった」「できた」と子どもたちが実感できるよう、授業改善に取り組む。	このKPI達成状況は、上位のKGIの達成に、	有効である	現状の取組を維持する	「授業改善プラン2026」や「南相馬の授業スタイル」について、研修の充実を図り、各学校、全ての教職員へ周知しながら、児童生徒の学習意欲を高められるような授業、学校環境改善に今後も取り組んでいく。
	中2 51.0%	中2 51.0%	中2 53.0%	104%	104%	中2 53.0%	100%	中2 52%	102%	102%	中2 55.0%	95%	中2 49%	96%	96%	中2 58.0%	84%		0%	0%	中2 60.0%	0%	学校教育課	未達成	目標値を下回っているため、今後も学習意欲の向上が図られるよう「解いてみたい・やってみたい」と思えるような課題の提示や「わかる・できる」授業の改善を図る。				
標準学力調査における平均正答率	小5 69.0%	小5 68.0%	小5 66.3%	96%	98%	小5 69.7%	95%	小5 66.9%	97%	98%	小5 70.5%	95%	小5 65%	94%	96%	小5 71.3%	91%		0%	0%	小5 72.0%	0%	学校教育課	未達成	目標値には届いていない。「全国学力・学習状況調査」同様、分析を行い、今後の授業改善等に生かせるようにしていく。	このKPI達成状況は、上位のKGIの達成に、	有効である	現状の取組を維持する	本調査は、客観的で標準化された調査であり、児童生徒の学力を知る上で大切な資料になるため継続して取り組んでいく。教育委員会、各学校で、しっかり分析することで各教科の授業の質的向上、指導改善に生かしていく。
	中2 62.2%	中2 58.1%	中2 57.1%	92%	98%	中2 62.6%	91%	中2 59%	95%	102%	中2 63.1%	94%	中2 55.2%	89%	95%	中2 63.6%	87%		0%	0%	中2 64.0%	0%	学校教育課	未達成	目標値には届いていない。「全国学力学習状況調査」同様、分析を行い、今後の授業改善等に生かせるようにしていく。				

施策の取組方針に対して実効性が高い取組	施策の取組方針に対して期待した成果が得られなかった取組	今後への課題と対応
【基礎学力向上対策事業】 先進地視察研修を受講した教職員が各学校において伝達講習をし授業の改善に努めたことで、知能検査・ＡＡＩ検査の実施・標準学力テストを実施し児童生徒の学習意欲の向上に寄与している。 【国際バカロレア教育研究事業】 国際バカロレアは児童生徒が主体的に課題について探究し、実社会とのつながりを通しながら理解を深めるものであり、児童生徒それぞれの興味関心や学びの目的、価値を見出しやすく児童生徒の学習意欲の向上に寄与している。	【学習塾等と連携した学力強化推進事業】 事業の紹介を様々な媒体、複数回試みたが募集人数に対して、参加者が少ないなどの課題がある。 ※実施結果 〇数学集中学習講座 中学2,3年生 8月12人、1月24人 〇英語集中学習講座 中学1～3年生 7月12人、10月7人 〇進学講演会 各中学校１回 〇保護者対象セミナー 年１回	学習塾との連携については、参加した生徒については満足度が高いものの、参加者数が少ないなどの課題もあることから、事業の見直しを図り、より保護者・児童生徒の意識醸成を図るための手法について、検討を行う。 また、引き続き「授業改善プラン2026」や「南相馬の授業スタイル」により、学んだことの定着と活用力の向上を図るとともに、「国際バカロレア教育研究」における双方向・協働型の探究型学習の取り組みを市内へ展開し、児童生徒の学習意欲を高められるような授業、学校環境改善にも取り組む。

施策③教育環境の整備

取組方針

■地域と連携した登下校時の安全確保や安全な通学手段の確保と、
　安全教育を推進します。
■学校施設の安全で快適な環境整備・改善に取り組みます。
■学校・地域・保護者が一体となった学校づくりを推進します。
■安全・安心な学校給食の安定的な提供体制を整備します。

主な取組例

●通学路等の安全点検の実施
●通学バスの運行等通学手段の確保
●老朽化施設・設備の改修
●コミュニティ・スクールの導入
●学校給食提供体制の整備

成果指標

指標名	2022		2023					2024					2025					2026					2026担当課	KGI・KPI達成状況	KGI・KPI達成状況の要因（直近１年間の要因分析）※原則未達成の場合記載	KPI達成状況の評価		R9年度に向けた施策の対応方針	R9年度に向けた施策の対応方針の具体案
	令和4年度現状値①	令和4年度末実績値②	令和5年度末実績値③	③/①現状比(%)	③/②前年比(%)	令和5年度末目標値	達成率(%)	令和6年度末実績値④	④/①現状比(%)	④/②前年比(%)	令和6年度末目標値	達成率(%)	令和7年度末実績値⑤	⑤/①現状比(%)	⑤/②前年比(%)	令和7年度末目標値	達成率(%)	令和8年度末実績値⑥	⑥/①現状比(%)	⑥/②前年比(%)	令和8年度末目標値	達成率(%)							
学校に行くのが楽しいと回答する児童生徒の割合（小5、中2）	小5 93.0%	小5 93.0%	小5 95%	102%	102%	小5 94.0%	101%	小5 91%	98%	98%	小5 94.0%	97%	小5 94%	101%	101%	小5 94.0%	100%		0%	0%	小5 95.0%	0%	学校教育課	達成	目標値と同じだが、高い水準のままである。子どもたちにとって、学校が楽しい場所であり続けるために今後も教育環境の確保に努めたい。	このKPI達成状況は、上位のKGIの達成に、	有効である	現状の取組を維持する	今後も目標達成のために、子どもたちが安心して学校生活が送れるよう、学習面や生活面において、子どもたち一人一人のニーズに応じた支援体制を工夫していく。
	中2 76.0%	中2 76.0%	中2 79%	104%	104%	中2 78.0%	101%	中2 80%	105%	105%	中2 81.0%	99%	中2 80%	105%	105%	中2 83.0%	96%		0%	0%	中2 85.0%	0%	学校教育課	未達成	目標値は下回っているが、毎年度少しずつ割合は上昇している。引き続き今後も、中学生が安心して楽しく学校生活を送れるよう、教育環境の整備を継続していく。				
小中学校の施設・設備の整備について「満足」「やや満足」と回答する保護者の割合	59.1%	59.1%	59.0%	100%	100%	60.0%	98%	71.4%	121%	121%	61.0%	117%	73.6%	125%	125%	62.0%	119%		0%	0%	63.0%	0%	教育総務課	達成	校内無線LANの整備やトイレ改修、LED化など、県内他自治体に先駆けた教育環境改善が要因と考えられる。また、施設修繕に対して緊急度に応じたメリハリのある予算措置と迅速な対応を徹底したことで、学校活動への影響を最小限に留めることができ、教育環境の維持・向上に寄与したことも要因と考えている。	このKPI達成状況は、上位のKGIの達成に、	有効である	現状の取組を維持する	引き続き、各学校からの要望に対する現場確認と迅速な修繕対応を継続し、良好な環境を維持する。また、児童生徒が心身ともに健やかに学べる教育環境の充実を目指し、他自治体の先進事例の研究や計画的な施設整備を推進することで、さらなる学習環境の最適化を図る。
学校給食における市産品の使用率	44.9%	44.9%	47.2%	105%	105%	46.0%	103%	48.8%	109%	109%	47.0%	104%	53.5%	119%	119%	48.0%	111%		0%	0%	50.0%	0%	学校教育課	達成	市産品については、契約農家や市場から収穫状況等についての情報を常に確認し、使用できる産品は積極的に使用していることが要因と捉えている。	このKPI達成状況は、上位のKGIの達成に、	有効である	現状の取組を維持する	今後も目標達成のため、市産品の情報収集等の取組を継続し、計画を推進する。

施策の取組方針に対して実効性が高い取組	施策の取組方針に対して期待した成果が得られなかった取組	今後への課題と対応
【学校給食費無償化事業補助金】 　給食は、地域を理解し、食文化の継承、自然の恵みや勤労の大切さを理解する上で、重要な役割を果たしており、学校給食の無償化は、児童生徒が安全かつ安心してよりよい教育を受けられる一助となっている。 【小学校施設営繕事業】 　学校が安心・安全な場所となるよう、各学校のニーズや施設の状況に合わせた修繕対応等を行い、教育環境の維持・向上に寄与できた。	【開かれた学校づくり事業】 　開かれた学校づくりのため、保護者・地域住民等の意見を反映することが求められてきたが、制度上、評議員個人の立場での参加となってしまうことから、学校運営にどう意見を生かすかなどの課題が残る。	開かれた学校づくり事業については、学校と地域が協働連携をさらに促進し、地域と一体となった学校づくりを目指すため、コミュニティースクール（学校運営協議会）制度を順次、市内の小中学校に導入するための検討を進める。 　今後も引き続き、子どもたちが安心して学校生活が送れるよう、学習面や生活面においてのきめ細かな支援体制や計画的な施設整備によるさらなる学習環境の充実を図る。

施策④児童・生徒の状況に応じた支援の充実

取組方針

■不登校・いじめ未然防止へ積極的に対応します。
■震災と原発事故の影響による家庭環境等の問題を抱える児童生徒へ心のケア等、積極的に対応します。
■一人ひとりの状況に応じた就学・学習支援を推進します。

主な取組例

●いじめ問題への積極的な対応
●スクールカウンセラーの配置
●就学指導アドバイザーの配置拡充
●適応指導教室の運営
●学習支援員・介助員の配置拡充

成果指標

指標名	2022 令和4年度現状値①	2022 令和4年度末実績値②	2023 令和5年度末実績値③	2023 ③/①現状比(%)	2023 ③/②前年比(%)	2023 令和5年度末目標値	2023 達成率(%)	2024 令和6年度末実績値④	2024 ④/①現状比(%)	2024 ④/②前年比(%)	2024 令和6年度末目標値	2024 達成率(%)	2025 令和7年度末実績値⑤	2025 ⑤/①現状比(%)	2025 ⑤/②前年比(%)	2025 令和7年度末目標値	2025 達成率(%)	2026 令和8年度末実績値⑥	2026 ⑥/①現状比(%)	2026 ⑥/②前年比(%)	2026 令和8年度末目標値	2026 達成率(%)	2026担当課	KGI・KPI達成状況	KGI・KPI達成状況の要因（直近１年間の要因分析）※原則未達成の場合記載	KPI達成状況の評価		R9年度に向けた施策の対応方針	R9年度に向けた施策の対応方針の具体案
不登校児童・生徒の割合	小 0.84%	小 0.68%	小 2.13%	254%	313%	小 0.83%	39%	小 2.43%	289%	357%	小 0.82%	296%	小 2.35%	280%	346%	小 0.81%	290%		0%	0%	小 0.80%	0%	学校教育課	未達成	学校生活にやる気が起きない、不安、勉強が苦手など学校不適応を起こす児童の増加及び、児童や保護者の「無理せずに休もう」という考えや「学校登校」にこだわらないという考えが広がっているためと考えられる。	このKPI達成状況は、上位のKGIの達成に、	有効である	現状の取組を維持する	・チーム学校による多くの教職員による見守りや児童生徒の不調や悩みなどに対する早期発見ときめ細やかな対応 ・学習支援員・介助員の配置による一人一人に寄り添った学習支援 ・学校スクールカウンセラーの配置による専門家による相談体制の整備 ・学校教育支援センター（やすらぎ広場）の活用による一人一人の発達特性に応じた支援体制の強化と居場所づくり
	中 2.76%	中 3.49%	中 5.55%	201%	159%	中 2.60%	47%	中 7.23%	262%	207%	中 2.50%	289%	中 11.04%	400%	316%	中 2.40%	460%		0%	0%	中 2.30%	0%	学校教育課	未達成	生活リズムの乱れややる気が起きない、不安・抑鬱などの生徒の増加及び、生徒や保護者の「無理せずに休もう」という考えや「学校登校」にこだわらないという考えが広がっているためと考えられる。				
学級生活に満足している児童生徒の割合	小5 73.8%	小5 73.8%	小5 67%	91%	91%	小5 75.3%	89%	小5 71%	96%	96%	小5 76.9%	92%	小5 69%	93%	93%	小5 78.4%	88%		0%	0%	小5 80.0%	0%	学校教育課	未達成	目標値に９％足りていない。しかし、学級に関する質問項目の回答は全国よりも高い数値であり、学級満足度は全国平均43%に比べても高い。データを各校において分析し、児童の支援に活用する。	このKPI達成状況は、上位のKGIの達成に、	有効である	現状の取組を維持する	・いじめを許さない学級、学校づくりの実現に向けた道徳教育の充実と保護者、地域住民、関係機関との連携 ・学習支援員、介助員等の配置による学習面や生活面における、子どもたち一人一人のニーズに応じた支援の充実 ・スクールカウンセラーの配置による児童生徒、保護者、教員等に対する相談体制の整備
	中2 52.0%	中2 52.0%	中2 59%	113%	113%	中2 55.3%	107%	中2 62%	119%	119%	中2 58.5%	106%	中2 64%	123%	123%	中2 61.8%	104%		0%	0%	中2 65.0%	0%	学校教育課	達成	目標値を約２％オーバーしている。今後も学級生活の充実を図りながら、個に寄り添ったきめ細やかな支援を継続していく。				

施策の取組方針に対して実効性が高い取組	施策の取組方針に対して期待した成果が得られなかった取組	今後への課題と対応
【学校不適応対策事業】 児童生徒の不登校数が全校的にも本市においても増加する中、子どもたちの居場所づくりと学習機会の保障に大きく貢献しているとともに、利用する児童生徒の進路の実現にも寄与している。 【スクールカウンセラー派遣事業】 カウンセリングを通して、子ども・教職員・保護者の悩みに寄り添い、心の負担の軽減に大きく寄与している。また、学習不振、友人関係、いじめ、不登校など諸問題の解決の糸口として大きく寄与している。	【部活動指導員】 地域展開を推進している中、部活動指導員の制度の在り方や、部活動指導員を担える人材、物活動の地域の受け皿を確保するのが難しいなどの課題がある。	部活動指導員については、部活動の地域展開を進める上では、受け皿となる地域クラブの把握と増加に向けた体制構築について検討が必要である。また、地域クラブ活動の支援に係る補助金の在り方、指導者の持続可能な配置を支援するための人材バンク体制構築など、様々な解決すべき課題があることから、他市の状況なども踏まえ、手法について検討していく。 また、不登校対策・いじめ問題についても、引き続き、児童生徒の不案や悩みなどへの早期発見ときめ細かな対応を、子どもたち一人ひとりのニーズに応じた支援に取り組む。

基本施策２.生涯学習

■現状と課題

生涯学習については、多様化するニーズ等を踏まえ、みなみそうまチャンネルとインターネットによる生涯学習講座の配信など、子育て世代・青壮年層をはじめ、生涯学習に興味を持つすべての市民が、いつでもどこでも気軽に学べる環境を整備することが必要です。
また、図書館や博物館等の充実をより一層図るとともに、地域の文化遺産の保護や、歴史・民俗資料等の適切な収集と保存、デジタルデータの公開等の多様な資料活用が必要です。
芸術文化関連では、新型コロナの影響もあり、市民が芸術文化に触れる機会が減少しています。市民が身近に芸術文化に触れることができる環境づくりや、芸術文化の普及を行う芸術文化協会への市民の加入促進が必要です。
また、近年は性別に関わらず、すべての人がその個性と能力を発揮できる社会の実現が求められています。本市では、人権を尊重し合いながら、あらゆる人がのびのびと能力を発揮できるジェンダー平等社会づくりに向け、地域や家庭、職場への広報・啓発活動を推進するとともに、相談・支援体制の構築が必要です。

■関連するSDGｓ



基本施策	施策	前年度実績に対するKPIの状況		上昇等割合	KPIの達成状況		達成割合	KPIの有効性		有効割合
		上昇等	下降等		達成	未達成		有効	非有効	
（２）生涯学習	⑤生涯学習の充実	4指標	1指標	80%	3指標	2指標	60%	5指標	0指標	100%
	⑥芸術文化の充実	1指標	0指標	100%	0指標	1指標	0%	1指標	0指標	100%
	⑦ジェンダー平等社会の推進	0指標	3指標	0%	0指標	3指標	0%	3指標	0指標	100%

■参考　前年度

基本施策	施策	前年度実績に対するKPIの状況		上昇等割合	KPIの達成状況		達成割合	KPIの有効性		有効割合
		上昇等	下降等		達成	未達成		有効	非有効	
（２）生涯学習	⑤生涯学習の充実	3指標	2指標	60%	4指標	1指標	80%	5指標	0指標	100%
	⑥芸術文化の充実	1指標	0指標	100%	1指標	0指標	100%	1指標	0指標	100%
	⑦ジェンダー平等社会の推進	3指標	0指標	100%	0指標	3指標	0%	3指標	0指標	100%

施策⑤生涯学習の充実

取組方針

■市民が生涯にわたって、学ぶことができる環境を整備し、生涯学習機会の充実を図るとともに、報徳精神の実践を推進します。
■歴史・民俗資料等の適切な収集・保存・活用を進め、博物館の企画・展示の充実と積極的な情報発信を図ります。
■読書活動の推進と多様な分類・分野の図書館資料の整備・充実を図ります。

主な取組例

●報徳仕法を含めた各種講座や教室、市民ボランティア等による出前講座の実施と動画配信
●文化遺産（史跡浦尻貝塚、泉官衙遺跡等）や歴史・民俗資料等の適切な保存環境の整備
●多様な世代ニーズに対応した博物館講座、体験学習等の開催
●図書館利用の促進と移動図書館の実施
●障がい者や外国人に対応した図書資料の整備

成　果　指　標

指標名	2022		2023				2024				2025					2026				2026担当課	KGI・KPI達成状況	KGI・KPI達成状況の要因（直近１年間の要因分析）※原則未達成の場合記載	KPI達成状況の評価		R9年度に向けた施策の対応方針	R9年度に向けた施策の対応方針の具体案
	令和4年度現状値①	令和4年度末実績値②	令和5年度末実績値③	③/①現状比(%)	③/②前年比(%)	令和5年度末目標値	達成率(%)	令和6年度末実績値④	④/①現状比(%)	④/②前年比(%)	令和6年度末目標値	達成率(%)	令和7年度末実績値⑤	⑤/①現状比(%)	⑤/②前年比(%)	令和7年度末目標値	達成率(%)	令和8年度末実績値⑥	⑥/①現状比(%)	⑥/②前年比(%)	令和8年度末目標値	達成率(%)						
生涯学習関連事業の延べ参加者数	8,093人	11,039人	13,170人	163%	119%	12,000人	110%	14,111人	174%	128%	12,100人	117%	14,711人	182%	133%	12,200人	121%	0%	0%	12,300人	0%	生涯学習課	達成	令和７年度実績値のうち、出前講座の参加者が61%（8,922人）を占めている。令和６年度現状値との比較では350人増であり、コロナ禍を契機に、学びたいメニューを自ら選び、身近な環境で学習できる出前講座を利用する団体等が増えていることが要因である。	このKPI達成状況は、上位のKGIの達成に、	有効である	現状の取組を維持する	生涯学習センター講座等の参加者は、令和６年度から若干増加した。（R６:5,539人→R7:5,789人）。今後、より幅広い年齢層が興味・関心をひく学習メニューの提供や、ライフスタイルに合わせいつでも学べる生涯学習環境の整備などに取り組み、センター講座等への参加増を図る。
YouTube「生涯学習チャンネル」再生回数	51,000回	53,805回	55,900回	110%	104%	55,100回	101%	68,700回	135%	128%	59,400回	116%	95,700回	188%	178%	64,200回	149%	0%	0%	69,200回	0%	生涯学習課	達成	目標達成という状況を見れば、Youtube「生涯学習チャンネル」は、市民に徐々に浸透していると捉えているが、知らない市民が多いのが事実であり、また、再生回数に偏りが見られる。市民への学習機会のさらなる提供に向け、市民のチャンネル認知度の向上と、内容の充実に努めることが必要と考える。	このKPI達成状況は、上位のKGIの達成に、	有効である	既存事業の縮小を図る	学習機会の創出には一定程度つながっているものの、学習意欲の幅広い醸成の面では限度があると捉えている。よって、この事業は継続するものの、制作本数を減らし、対面式での講座等を増やし、講座内容の充実を図っていく。
図書館の入館者数	166,369人	199,954人	206,838人	124%	103%	188,000人	110%	211,593人	127%	106%	201,000人	105%	198,346人	119%	99%	215,000人	92%	0%	0%	230,000人	0%	中央図書館	未達成	市民のニーズに応え図書館資料の充実を図ったこと、図書館の利用促進のための様々なイベント等を行ったが、空調設備工事による立ち入り区域の制限により、入館者の減少に繋がったと捉えている。	このKPI達成状況は、上位のKGIの達成に、	有効である	現状の取組を維持する	今後も目標達成のため、新規の利用者増に向けた情報発信や利用促進イベントの開催等により来館者増に取り組む。
市民一人当たりの図書の年間貸出冊数	6.61冊	6.89冊	6.76冊	102%	98%	7.14冊	95%	6.67冊	101%	97%	7.42冊	90%	6.72冊	102%	98%	7.64冊	88%	0%	0%	7.86冊	0%	中央図書館	未達成	図書館資料の充実を図ったこと、および図書館の利用促進のための様々なイベント等を行い、目標には到達しなかったが、昨年度を上回る結果となった。	このKPI達成状況は、上位のKGIの達成に、	有効である	現状の取組を維持する	目標達成に向け、図書館の利用者増のための取り組みと併せて、市民のニーズに合わせた図書資料の一層の充実を図る。
博物館の利用者数	8,426人	9,338人	12,329人	146%	132%	8,800人	140%	11,904人	141%	127%	9,400人	127%	12,692人	151%	136%	10,000人	127%	0%	0%	10,600人	0%	文化財課	達成	新規事業「恐竜化石探索調査・教育普及事業」における、観光施設との連携イベントや、著名な古生物学者を招いての講演会などの新たな取り組みは、利用者数の増加に貢献した。また、企画展の開催回数を見直し、前年度から１回減の3回開催としたが、それぞれ開催期間を延ばしたことや、戦後80年というタイムリーな話題提供や福島プレDCとの連携などもあってか、回数減少の悪影響はほぼなく、企画展の入館者数は前年度よりも増加した。	このKPI達成状況は、上位のKGIの達成に、	有効である	現状の取組を維持する	KGI及びKPI達成のため、多様な世代ニーズに適した企画展の開催をはじめ、講座・体験活動の充実、様々な関係者・機関との連携、各事業のＳＮＳ等を活用した周知促進に取り組む。

施策の取組方針に対して実効性が高い取組	施策の取組方針に対して期待した成果が得られなかった取組	今後への課題と対応
【恐竜化石探索調査・教育普及事業】 観光施設を活用したイベントや、著名な研究者の講演会を開催し、集客と教育普及につながった。 【生涯学習講座事業】 市民ニーズを捉えながら参加しやすい環境づくりに努め、生涯学習講座等の参加者増につながった。 【移動図書館管理運営事業・図書整備事業】 多様な資料の提供とレファレンス対応により、市民の学習、文化、教養、調査研究等に寄与できた。	【民俗芸能保存伝承事業】 東日本大震災や新型コロナウイルス感染症の影響により芸能実施の機会が減少し、活動休止が増えている。 【二十歳を祝う会開催事業】 若者世代の意識変化による参加数減もあるが、この事業自体は生涯学習参加への直接的影響は低い。 【図書館ブックスタート事業】 この事業は子どもの心と言葉を育て、想像力豊かな人間形成のために重要であるが、図書資料の貸し出し件数や来館者数への直接の影響は低い。	多様な市民ニーズを捉え、また、ヒトを含めた地域資源の活用や、他団体と連携した各種事業づくりと、気軽に利用でき、満足度の高い施設づくりに努める。 既存の情報媒体を活用した情報発信はもちろん、生涯学習に対する多くの市民の関心を高め、意識醸成を図るため、効果的な情報素材づくりと情報発信の手法などを検討していく。

施策⑥芸術文化の充実

取組方針

■身近に芸術文化に触れることのできる環境づくりと、創作する機会の創出を推進します。
■芸術文化活動団体への加入促進と組織力強化の取組を支援するとともに、芸術文化活動の充実を図ります。

主な取組例

●文化芸術等イベントの開催
●各種団体や個人の活動支援援

| 成果指標 | | |

施策⑦ジェンダー平等社会の推進

取組方針

◎男女双方の視点から施策を実施するために、あらゆる分野への男女の参画拡大を啓発します。
◎講演会の開催や情報誌の発行等により、ダイバーシティ（多様性）とインクルージョン（受容）社会の意識醸成を図ります。
◎DVやセクシュアル・ハラスメント等の重大な人権侵害の根絶を図るため、広報・啓発や相談体制の構築、関係機関との連携協力体制の整備を進めます。

主な取組例

●市の附属機関等における女性委員の登用推進
●男女共同参画に関する講演会・学習会等の開催
●DVやセクシュアル・ハラスメント等防止に向けた広報啓発
●各種相談・支援体制の構築

成果指標

指標名	2022		2023					2024					2025					2026					2026担当課	KGI・KPI達成状況	KGI・KPI達成状況の要因（直近１年間の要因分析）※原則未達成の場合記載	KPI達成状況の評価		R9年度に向けた施策の対応方針	R9年度に向けた施策の対応方針の具体案
	令和4年度現状値①	**令和4年度末実績値②**	**令和5年度末実績値③**	③/①現状比(%)	③/②前年比(%)	令和5年度末目標値	達成率(%)	令和6年度末実績値④	④/①現状比(%)	④/②前年比(%)	令和6年度末目標値	達成率(%)	令和7年度末実績値⑤	⑤/①現状比(%)	⑤/②前年比(%)	令和7年度末目標値	達成率(%)	令和8年度末実績値⑥	⑥/①現状比(%)	⑥/②前年比(%)	令和8年度末目標値	達成率(%)							
男性職員の育休取得	50.0%	50.0%	60.0%	120%	120%	100%	60%	88.8%	178%	178%	100%	89%	60.0%	120%	120%	100%	60%		0%	0%	100%	0%	生涯学習課	**未達成**	令和７年度中に育児休業が取得可能な男性職員について、業務の困難性等により、取得困難な職員がいたため、目標達成に至らなかった。安心・安全に働くことができる職場づくりと、ワークライフバランスの周知・啓発が必要と考える。	このKPI達成状況は、上位のKGIの達成に、	**有効である**	現状の取組を維持する	安心・安全に働くことができる職場づくりと、ワークライフバランスの周知・啓発など取組を継続し、計画を推進する。
審議会等における女性登用率	26.8%	26.8%	25.4%	95%	95%	30.0%	85%	26.2%	98%	98%	33.0%	79%	25.7%	96%	96%	36.0%	71%		0%	0%	40.0%	0%	生涯学習課	**未達成**	委員の団体等推薦の場合、女性の選出が少ない状況であり、女性登用率に大きな改善が見られない。男女共同参画を啓発し、女性活躍推進を図る必要がある。	このKPI達成状況は、上位のKGIの達成に、	**有効である**	現状の取組を維持する	①審議会等への女性登用と、審議会等委員の公募による女性登用の促進、②市政への関心と理解を深め、市政への積極的な参画の促進（広聴機会の充実や出前講座の開催）、などを全庁に周知啓発し、計画を推進する。
地方公共団体の管理職等に占める女性の割合	10.0%	10.1%	10.3%	103%	102%	12.0%	86%	11.9%	119%	117%	14.0%	85%	8.9%	89%	88%	15.0%	59%		0%	0%	16.0%	0%	生涯学習課	**未達成**	適切な判断力や政策形成能力、人事管理能力などを考察し、管理職として適正な人材の積極的登用を進めているが、その性格上、目標達成を前提とした管理職登用にはならない。	このKPI達成状況は、上位のKGIの達成に、	**有効である**	現状の取組を維持する	特定の職場にこだわることなく女性を配置し、能力開発や経験を積むなどキャリアの形成支援に努めながら、男女間格差のない管理職登用に取組む。

施策の取組方針に対して実効性が高い取組	施策の取組方針に対して期待した成果が得られなかった取組	今後への課題と対応
※男女共生事業については、３つのKPIが未達成であるが、未だ残る固定的な性別役割分担や地域慣習などがあり、即効性が期待できるものではない。ただし、少しでも進展できるよう以下に取り組んでいる。 ・人権講演会と男女共同参画講演会の合同開催 ・男女共同参画推進計画に関する出前講座のメニュー化 ・令和６年度から女性活躍推進セミナーをスタート（令和８年度で3年目）	【男女共生事業】 講演会、学習会、情報紙の発行を柱に、男女共同参画社会の実現に向けて取り組んでいるが、必要性・重要性など市民への浸透度がまだまだ低い。特に、情報紙は身近に知ることができる貴重な媒体であり、市民の興味を引く内容を取り上げ、市民啓発に効果的な紙面づくりを行っていく必要がある。	ジェンダー平等社会の推進については、男性の育休取得など、徐々に浸透し取得率向上につながってきているものの、職種によっては取得が難しいなどの課題があるところである。 さらにジェンダー平等社会を推進し、誰もが自分らしく生きていける社会を目指し、様々なニーズに合わせた情報発信や意識啓発等に努める。